

未来へ残すふくいの公文書

—「神社明細帳」から「はぴりゅう」まで— 開催要項

1 概要

福井県文書館では、歴史資料として重要な公文書（歴史的公文書）約70,000冊を収蔵しています。本展示では、歴史的公文書および周辺の資料を通して、明治～平成の県政の一端を振り返ります。2018年（平成30）に開催された「福井しあわせ元気国体・障スポ」の関連文書も取り上げ、公文書を未来へ残し活用していく意義を考えます。

2 会期・場所

令和6年6月28日（金）～8月28日（水） 文書館閲覧室

※休館日：7月1日（月）、8日（月）、16日（火）、18日（木）、8月26日（月）

3 主な展示資料

（1）展示ケース内

	展 示 資 料	概 要
第1章 明治時代の公文書	「旧福井県庁文書」 (資料群番号 A0300)	1879年（明治12）に作成された県内各地域の「神社明細帳」や1888年（明治21）に作成された「新村撰定事由調」等。
第2章 昭和～平成の公文書	「自昭和3年至昭和15年庶務雑件（都市計画福井地方委員会）」（1928～43年（昭和3～18）、簿冊番号329）	戦前の都市計画法にもとづいて都道府県に設置された都市計画地方委員会の簿冊。福井城址・足羽山・足羽川の風致地区指定について諮った際の資料等が綴じられている。
	「福井県復興宝くじ」 (1946年（昭和21）、簿冊番号61)	戦後の復興を目的とした宝くじの発行計画。都道府県としては全国初の取組みであり、「ふくふく籤」という愛称で売り出された。
	「芦原町大火」 (1956年（昭和31）、簿冊番号58)	1956年（昭和31）4月に発生した芦原町大火に関する簿冊。復興支援のために知事をはじめ県庁各課が国の各省庁への要望に奔走した様子などがうかがえる。
	「恐竜博物館建設準備委員会」 (1998年（平成10）、簿冊番号26472)	恐竜博物館の第7回建設準備委員会に関する簿冊。建築家・黒川紀章デザインの図面が添付されている。
第3章 「福井しあわせ元気国体」関連資料	2018年（平成30）に開催された「福井しあわせ元気国体・障スポ」の簿冊や関連資料を展示。	

（2）関連イベント（ゆるっトーク）

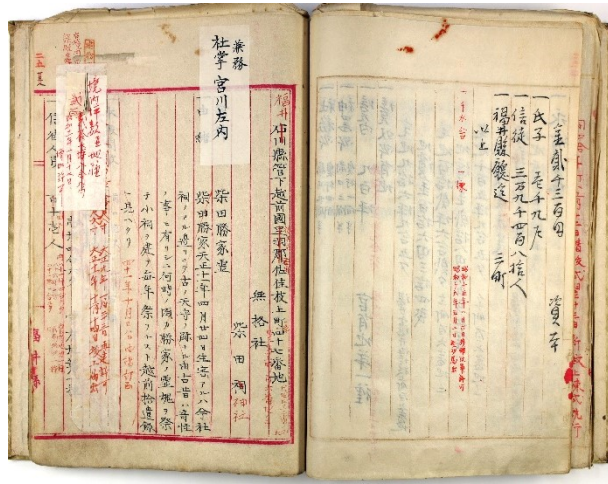
「明治時代の公文書からみるふくいの地名」

日時：令和6年8月10日（土）16:00～17:00 会場：文書館研修室

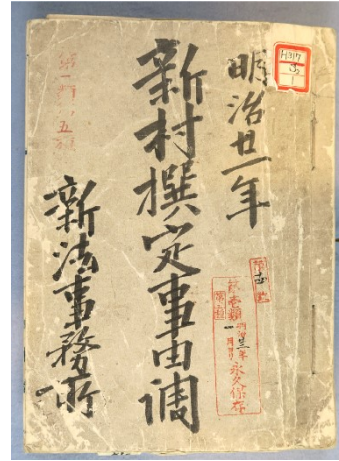
（3）その他

- ・壁面ケースには大型タペストリー「広報写真でみるふくいの戦後60年」を設置
- ・公文書について楽しみながら学べるクイズコーナーを設置

<展示資料の例>



「越前国福井市神社明細帳」(柴田神社記載部分)



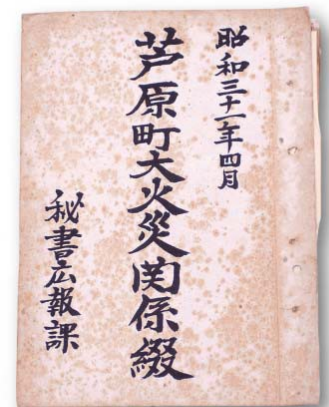
「新村撰定事由調」



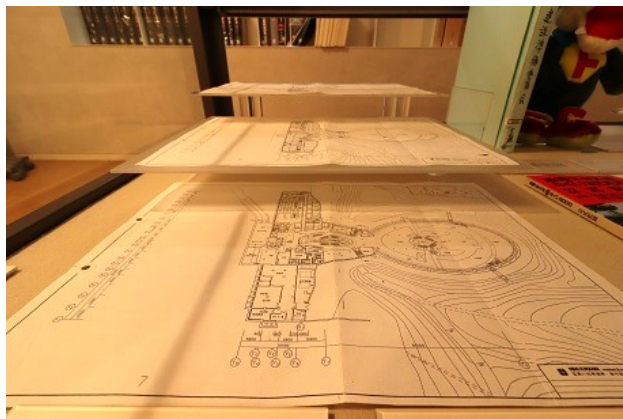
「自昭和3年至昭和15年庶務雑件」



「福井県復興宝くじ」



「芦原町大火」



「恐竜博物館建設準備委員会」(黒川氏による設計図面)